TDB Business View
2025/09/02

高リスク企業数は減少傾向

高リスク企業の割合は業種によって差異が大きいが、全体では減少傾向で推移

青森県・「倒産リスク」分析調査（2025 年上半期）

帝国データバンク

本件照会先

徳永　博一（支店長）
帝国データバンク
青森支店
TEL 017-776-5048
FAX 017-723-4414

発表日

2025/09/02

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

企業が 1 年以内に倒産する確率を 10 段階のグレードで表す指標「倒産予測値」（※）算出の県内約 1 万 7600 社のうち、2025 年 6 月時点における高リスク企業（グレード 8～10）は全体の 7.6%にあたる 1329 社であった。「小売業」は件数が多く 341 社、ついで「建設業」が339社であった。

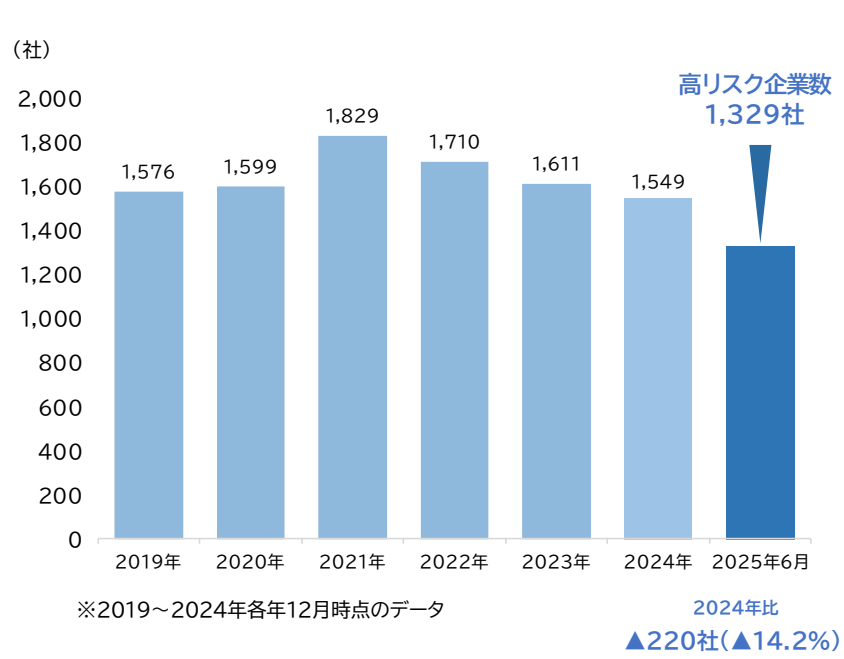
※倒産予測値とは
- 倒産予測値とは今後1年以内に倒産する確率を個別企業ごとに算出したリスク指標
- 現地現認の信用調査と、独自のネットワークによる変動情報などを集積した帝国データバンクが保有するビッグデータから、倒産に関係が深い要素だけに焦点を当て、独自の統計モデルにより算出
- 個別企業ごとに予測したリスク指標を G1～G10 の 10 段階のグレードに設定しており、G1 が最も倒産リスクが低く、G10 が最もリスクが高いグレードとなっていてグレードが高いほど実際に倒産が発生している

倒産リスクが高い企業群は青森県で 1329 社

2025 年の倒産件数は8月までで累計 59 件となり、前年同月の 51 件を 8 件上回る推移にある。このままのペースで推移すると、年間の倒産件数は、4年連続前年を上回ることとなる。

帝国データバンクでは、蓄積したビッグデータを活かして、企業が 1 年以内に倒産する確率を 10 段階のグレードで表す指標である「倒産予測値」を算出しており、特にリスクが高い企業（グレード 8～10）を「高リスク企業」ととらえ、その件数の推移などの分析を行った。結果、倒産予測値算出対象の県内約 1 万 7600 社のうち、2025 年 6 月時点での高リスク企業は全体の 7.6%にあたる 1329 社であった。2024 年 12 月時点の 1549 社と比較すると 220 社の減少となった。

高リスク企業数推移

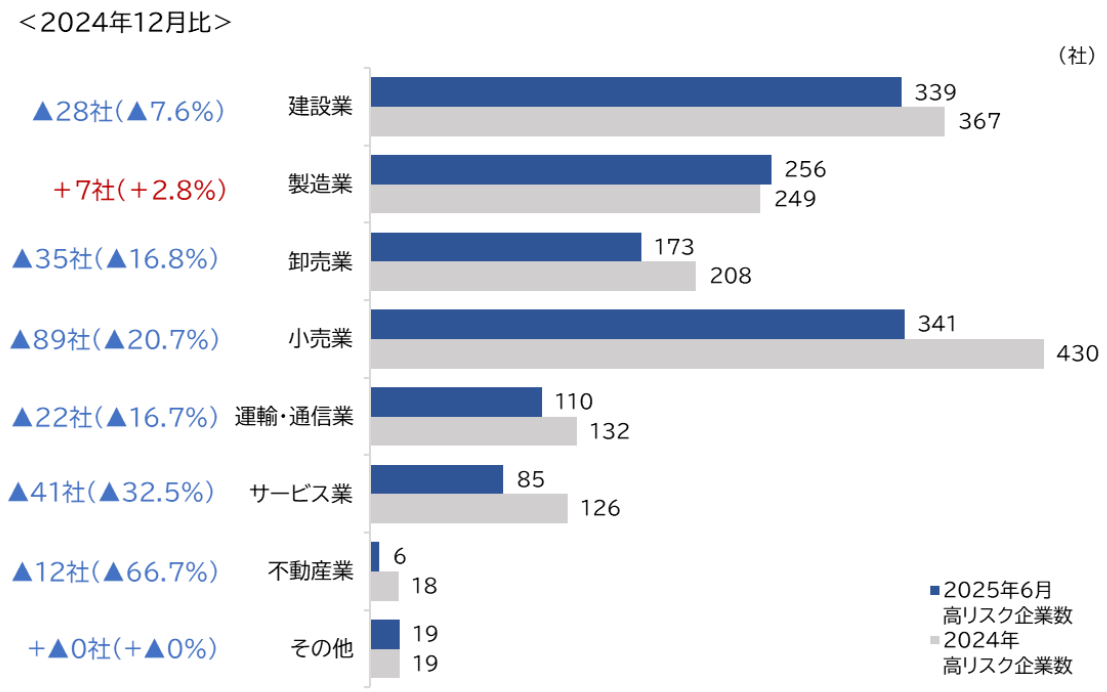


業種別では「小売業」が 341 社で最多

業種別に高リスク企業数を見ると、『小売業』が 341 社と最も多く、2024 年 12月時点と比較すると 89 社減少した。2 番目に多い業種は『建設業』の 339 社であり、同時点より 28 社減少した。「製造業」以外では、すべての業種にて、2024 年 12 月調査時点よりも、高リスク企業数の減少が認められる。

一方で高リスク企業の割合をみると、「製造業」および「運輸・通信業」が高位にあり、業種によって差異が大きくなっている。

業種大分類別　高リスク企業数



業種大分類別　高リスク企業割合

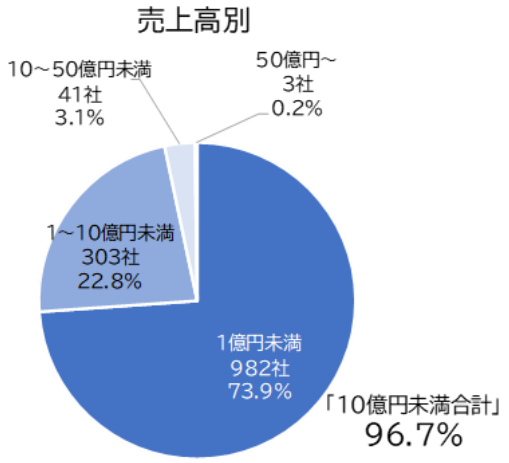
コード	業種大分類	2024年 高リスク企業数	高リスク 企業割合	合計	2025年6月 高リスク企業数	高リスク 企業割合	合計	差分件数	前年比
A	建設業	367	7.2%	5,117	339	6.7%	5,079	-28	-7.6%
B	製造業	249	23.2%	1,075	256	24.3%	1,054	7	2.8%
C	卸売業	208	12.8%	1,621	173	10.8%	1,607	-35	-16.8%
D	小売業	430	15.7%	2,743	341	12.6%	2,707	-89	-20.7%
E	運輸・通信業	132	22.0%	599	110	18.3%	602	-22	-16.7%
F	サービス業	126	2.6%	4,781	85	1.8%	4,815	-41	-32.5%
G	不動産業	18	2.3%	770	6	0.8%	785	-12	-66.7%
H	その他	19	2.4%	802	19	2.3%	811	0	0.0%
合計		1,549	8.8%	17,508	1,329	7.6%	17,460	-220	-14.2%

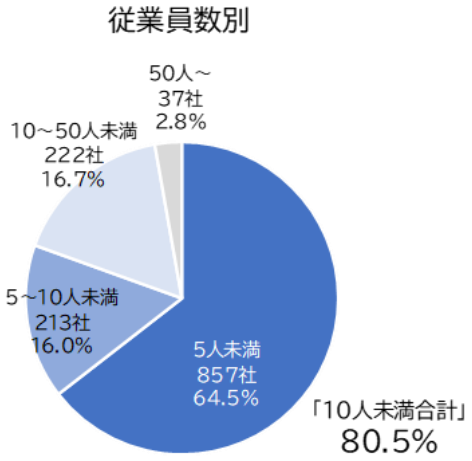
売上高「10 億円未満」が高リスク企業の 9 割超を占める

売上高別にみると、「1 億円未満」が 982 社と最も多く、続いて「1～10 億円未満」が 303 社であり、「10 億円未満」の企業で全体の 96.7％を占めた。

従業員数別も同様の傾向で、「5 名未満」が 857 社と最も多く、「5 人～10 人未満」が 213 社と続く結果となった。

（左） 売上高別　高リスク企業数　　（右） 従業員数別　高リスク企業





まとめ

倒産や休廃業件数は増加傾向を辿るなか、倒産リスクが高い企業数は減少傾向を示している。全体としては、倒産などによって退出を余儀なくされる企業が多いほか、業績の改善によって全体の倒産リスクの上昇が抑えられているものとみられる。ただ小規模な事業者ほど、内部留保に乏しく、外部環境が激変すると急速に資金繰りが行き詰る傾向にあるほか、業種によっては、コスト高や人手不足など、収益環境が厳しく、業績改善に繋がっていない企業も多く、同じ業種のなかでも、企業によって優勝劣敗が鮮明になっている感は強い。物価高や賃金上昇といった変化にいかにして適応するか、生産性を上げるための知恵と工夫は必須となってきている。